

# 第3回 豊岡地域 デザイン懇談会を開催しました

「第3回豊岡地域デザイン懇談会」を、10月1日（金）八条地区コミュニティセンターで開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービスの提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

今回の懇談会では、第2回目において、参加者の皆さまに「集約・統合すべき役割・機能」「利用者にとってのメリット」等について議論を行っていただきましたので、その結果について報告を行いました。

次に、地域別のグループに分かれ、地域にある公共施設について「生活機能」「利用機能」「経済機能」「安全安心機能」「風土形成機能」の5つの視点でチェックしていただきました。併せて、利用していない施設があれば、現状の施設の問題点や課題、施設の在り方に関する希望等についても議論していただき、最後に各グループワークの結果を発表し、全体で共有しました。

## 懇談会の様子



## 第4回地域デザイン懇談会の開催について

### 【第4回開催日時】

日時：2021年10月29日（金）午後7時から

場所：豊岡健康福祉センター 3階 第2会議室

### 【傍聴について】

傍聴をご希望される方は、公共施設マネジメント推進室へお申し込みください。

- (1) 対象者：豊岡地域に在住、もしくは在勤の方
- (2) 定員：10名まで（定員になり次第、申込受付は終了します。）
- (3) 申込先：電話番号 21-9129 Eメール：koukyou@city.toyooka.lg.jp
- (4) 申込時連絡内容：① 氏名 ② 住所 ③ 連絡先電話番号
- (5) 申込期限：2021年10月29日（金）午後3時まで

# 参加者の皆さまからの意見の一部を紹介します

## A：五荘・奈佐

- 旧奈佐小学校を誰でも使えるようになれば良いが  
→伝統芸能を学ぶ・演劇の場として利用する等
- コミュニティセンターは地域の活動や会議の拠点
- コミュニティセンターに子どもが集まる機能を
- 五荘と奈佐のコミュニティセンターで連携して  
行事を行うことも良い
- コミュニティセンターがタテの繋がりを生み出す  
場所になれば良い（用が無くて人も人が集う仕組み）

## B：新田・神美・中筋

- 学校と連動していて、コミュニティセンターは  
切り離せない場所
- 小学校が無くなると、地区のコミュニティも無く  
なってしまう気がして怖い。
- 小学校に商業機能を（地区外の人でも来やすくなる）
- コミュニティセンターが役所の窓口になると便利
- コミュニティセンターにカフェ要素があれば良い
- 小学校をコミュニティセンターにしてはどうか

## C：田鶴野・三江

- コミュニティセンター  
→待ち合わせ場所や時間つぶし等、  
気軽に集まれる場所になってほしい
- 玄武洞とコウノトリの郷公園の連携が重要
- 地域にある重要文化財を上手く活用できれば
- コウノトリ本舗  
→集まる場所、飲食できる場所があるので、  
有効活用した方が良い

## D：豊岡・八条

- コミュニティセンターを利用しやすく  
→電話して申請書を記入しなければならないのは  
若い人から敬遠されやすいのではないかと
- コミュニティセンターを若い人たちが使うには  
どうしたらよいか⇒利用しやすいツール作り
- コミュニティセンターは今後指定管理施設となる  
→儲けを出していかないと運営できなくなる
- コミュニティの役員の担い手について考える必要がある

### ◇ご意見・ご感想◇

- ・自分の地域だからこそその声ってとても大切だと感じた。
- ・地域別で話し合ったので、テーブルでも発表でも、地域愛を感じられた。
- ・ほとんど知識のないところからでしたが、皆さんに色々と教えて頂き、現状と地域の方々の思いが良く分かった。、素敵な出会いもあり感謝。
- ・コミュニティセンターに関する話が中心だった。身近な問題であり、活発な意見交換ができた。
- ・多世代の方や、様々な立場の意見が聞けて、勉強になった。
- ・改めて、身近な施設について考えることができた。

【参加者アンケートより】

当日の配布資料など、詳細は  
市ホームページをご覧ください。

### 【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129